

平成 25 年度

第 1 回 長久手市香流川整備計画

(香流川を活かしたまちづくり) 検討委員会

議 事 次 第

日時：平成 25 年 3 月 25 日 (火) 15:00 ~

場所：長久手市 3 階会議室

1 . 開会

2 . 挨拶

3 . 委員委嘱・紹介

4 . 会長・副会長選出

5 . 審議

市全域の「香流川を活かしたまちづくりの」のあり方、方針

- ・既存上位計画等の把握
- ・重点・優先的な整備が必要な箇所、中長期で整備が必要な箇所の選定

5 . 閉会

【配布資料】

- ・資料 1 出席者一覧
- ・資料 2 席次表
- ・資料 3 委員会スケジュール
- ・資料 4 委員会設立趣意
- ・参考資料 : 長久手市香流川整備計画(案)(香流川を活かしたまちづくり)
第 1 回 検討委員会資料 2014.3.25
- ・別紙 : 現地調査マップ (現地調査時に配布)
- ・日程調整について

**平成25年度
第1回 長久手市香流川整備計画（香流川を活かしたまちづくり）検討委員会
出席者一覧表**

平成26年3月25日（火）

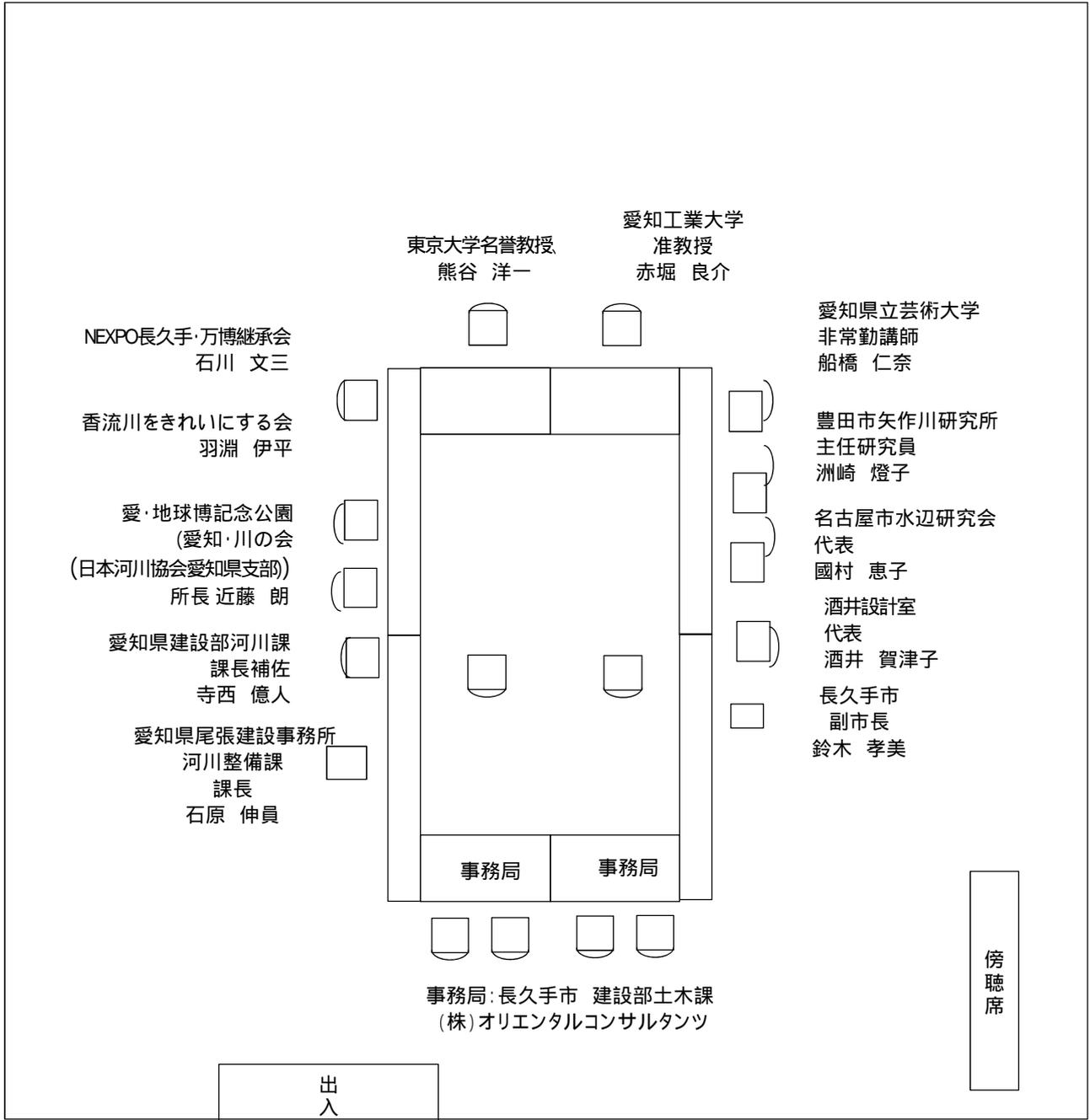
所属機関	役職	氏名
東京大学名誉教授 (東京農業大学教授,兵庫県淡路景観園芸学校学 長)	名誉教授	熊谷 洋一
愛知工業大学	准教授	赤堀 良介
愛知県立芸術大学	非常勤講師	船橋 仁奈
豊田市矢作川研究所	主任研究員 博士（理 学）	洲崎 燈子
名古屋市水辺研究会	代表	國村 恵子
酒井設計室	代表	酒井 賀津子
NEXPO長久手・万博継承会		石川 文三
香流川をきれいにする会		羽淵 伊平
愛・地球博記念公園 (愛知・川の会（日本河川協会愛知県支部）)	所長	近藤 朗
愛知県建設部河川課	課長補佐	寺西 億人
愛知県尾張建設事務所河川整備課	課長	石原 伸員
長久手市	副市長	鈴木 孝美

事務局：長久手市 建設部土木課、（株）オリエンタルコンサルタンツ

平成25年度
 第1回 長久手市香流川整備計画
 (香流川を活かしたまちづくり)検討委員会

座席表(案)

平成26年 3月25日(火)



実 施 工 程 表

議題		議論の内容	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
既存計画のとりまとめ			■									
優先整備箇所の分類・整理				■	■	■			■	■		
香流川整備計画の策定						■	■	■	■	■	■	
報告書作成												■
委 員 会	第1回	既存上位計画等の把握 長久手市の現状や課題、上位計画等を把握します。	第1回(3/25)									
		3年以内に重点・優先的な整備の必要な箇所、中長期で整備が必要な箇所の選定	■									
	第2回	重点整備箇所、中長期整備箇所の整備イメージの検討				第2回						
		整備イメージ、整備手法の確認							第3回			
	第3回	整備形態、優先度を考慮した整備年次計画の策定							■			
		整備形態、優先度を考慮した整備年次計画の策定										
委員会協議資料作成			■		■	■	■	■				

長久手市香流川整備計画（香流川を活かしたまちづくり）検討委員会趣旨

◆委員会設立趣旨

長久手市は非常に高い都市機能を持ち、宅地開発により市街地が東に東にと拡大してまいりました。日本の都市計画では一般的に道路、鉄道、駅前広場、公園、橋、建築物、駐車場などを都市施設の必要なものとして計画・整備してきましたが、河川は同じまちづくりの施設として、あるいは同じ土俵で議論されてきませんでした。近年は河川の流量は普段は少なく、雨が降らないとすぐに涸れ、降るときは非常に局地的に、短時間に集中した豪雨となり、河川の氾濫や護岸が崩壊する被害が増え、河川の在り方を中長期的な視点で再検討する必要がでてきました。

長久手市は、一番東の丘陵地に位置する自然豊かな「愛・地球博記念公園・モリコロパーク」が存在し、周辺を源に市街地へ流れ込む香流川が存在します。香流川の流れとともに、上流からの豊かな自然の息吹きを市街地に呼び込み、安全かつ貴重な都市空間として、生命あふれる香流川の在り方を見直し、成熟したまちづくりを中長期的な視点にたって展開することが重要だと考えます。

また2015年に愛知万博10周年記念事業として「愛・地球博記念公園・モリコロパーク」において「全国都市緑化フェア」を開催することを計画しており、公園西駅周辺では2013年から「公園西駅周辺土地区画整理事業」を着手、そのうち商業ゾーンに大規模商業施設「イケア」を誘致し出店する予定で、数年内に公園西駅周辺や香流川の環境が大きく変わります。

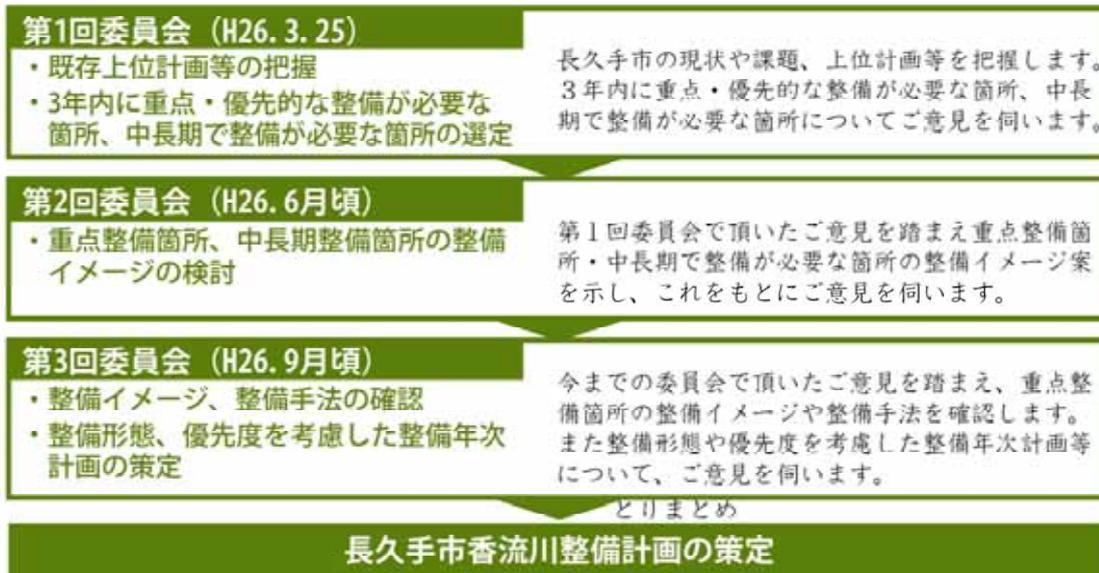
そのような中で**今後、長久手市が持続発展していくために、次世代に継承する財産として自然環境の創生と都市的価値を高める象徴として香流川や長久手市の姿を審議しながら、3年以内に重点・優先的な整備が必要な箇所やその整備イメージについて検討することが急務となっています。**

そのため、長久手市における上位計画や現状・課題を踏まえながら、長久手市における各事業の優先順位や重要性、整備イメージ等を明確にし、今後の事業を円滑に推進する「長久手市香流川整備計画」を策定するため、「長久手市香流川整備計画検討委員会」を設立いたします。

◆検討内容

- ・市全域の「香流川を活かしたまちづくり」のあり方、方針
- ・重点・優先的な整備箇所の選定及び整備手法
- ・重点箇所の整備イメージの確立
- ・整備形態、優先度を踏まえた整備計画の策定

◆委員会の流れ



長久手市香流川整備計画(案)
(香流川を活かしたまちづくり)



第1回 検討委員会資料
2014. 3.

株式会社 オリエンタルコンサルタンツ

1. 長久手市の観光・施設



分類	主な資源
自然	里山、田園、香流川などの河川
●歴史・文化財	長久手古戦場（古戦場公園、色金山歴史公園等）、誓国祭り（オマント）、棒の手、前熊の山車、神社・仏閣（石作神社、兼行天皇社、熊野社、多度神社、神明社、安昌寺、教團寺等）
★文化・交流施設	文化の家、中央図書館、長久手温泉こざらっせ、あくりん村、平成こども塾（丸太の家）、まちづくりセンター、シンシアの丘
▲美術館・博物館・資料館	トヨタ博物館、名都美術館、郷土資料室、法隆寺金堂壁画模写展示館（興立芸大）、農業民族館（限農業総合試験場）
◆大学・研究施設	県立芸術大学、県立大学、愛知医科大学、淑徳大学、県農業総合試験場
■広場・公園	愛・地球博記念公園（モリコロパーク）、秋ヶ池公園、松ヶ榎公園、香流川緑地、せせらぎの径、はなみずき広場、くすのき広場
交通基盤・幹線道路	リニモ（東部丘陵線）、Nバス、グリーンロード、図書館通り、古戦場通り

Nバス：長久手市が運営するコミュニティバスの愛称。長久手市循環バス。

◆イベント（H24年度）

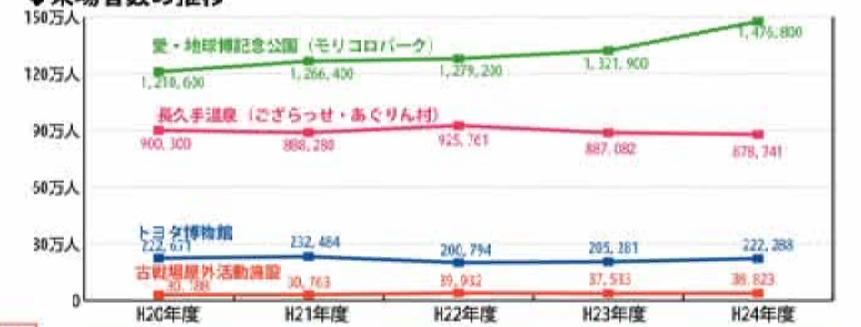
開催期間	名称	場所	来場者数
3/31(土)～4/14(土)	長久手古戦場桜まつり	古戦場公園	8,000
5/27(日)	トヨタ博物館クラシックカー・フェスティバル	モリコロパークほか	16,000
7/15(日)	前熊天玉まつり	多度神社	-
7/14(土)～7/15(日)	モリコロパーク夏まつり	モリコロパーク	13,300
8/18(土)	ながくて納涼まつり	市役所	5,000
9/22(土)～9/23(日)	モリコロパーク秋祭り	モリコロパーク	25,300
10/7(日)、10/14(日)	誓国祭り（オマント・棒の手）	前村（石作神社）長久手兼行天皇社など（上郡神明社等）	-
10/20(土)～11/4(日)	ながくてアートフェスティバル	文化の家ほか	27,497
10/28(日)	色金山茶会	色金山歴史公園	232
11/11(日)	ながくて市民まつり	市役所	16,000
12/8(土)～12/23(日)	ながくて冬まつり	はなみずき広場、図書館通りほか	2,500
3/24(土)～3/25(日)	モリコロパーク春まつり	モリコロパーク	14,400

*ながくてアートフェスティバルの来場者は文化の家の来場者



里山・東山川上流の水田（三ヶ峯丘陵） 秋ヶ池公園 東部丘陵と香流川沿いの田園 愛・地球博記念公園（モリコロパーク）
 古戦場公園 色金山歴史公園 誓国祭り（オマント・棒の手） トヨタ博物館
 文化の家 田園バレー交流施設あくりん村、せせらぎの径 リニモ（東部丘陵線）

◆来場者数の推移



まとめ

- 東部は三ヶ峯丘陵や田園など豊かな自然が残る。
- 市内には愛・地球博記念公園、こざらっせ・あくりん村、長久手古戦場、文化の家など歴史や文化を感じられる施設が存在する。
- 愛・地球博記念公園、長久手温泉こざらっせ・あくりん村、トヨタ博物館など市内外から多くの人々が訪れている。

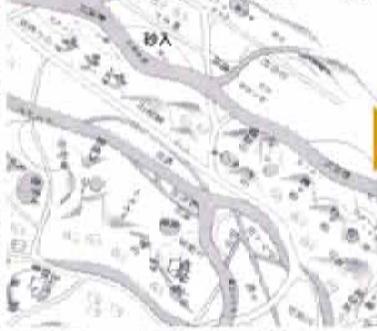
※2015年秋全国都市緑化いちごフェスタ開催期間

2. 土地利用の変遷・人口の推移

◆土地利用の変遷

長久手市は古くから丘陵地やため池、湿地を開拓した田園が広がっていた。長湫は長く続く湿地を意味し、香流川は大雨が降ると一気に増水し、雨が降らないと干上がってしまう瀧流川との説もある。昭和40年代より土地区画整理事業や大学誘致、力石名古屋線などの幹線道路、リニモなどが整備され、田畑や樹林地はほとんど見られなくなった。

江戸時代 長湫地区（長久手市北西部）
愛知県長久手村絵図：年不詳開図



砂入（大雨や洪水により砂が入り田畑が被害に遭い耕作できない。年貢徴収のため記された。）

1948年（昭和23年）



1977年（昭和52年）

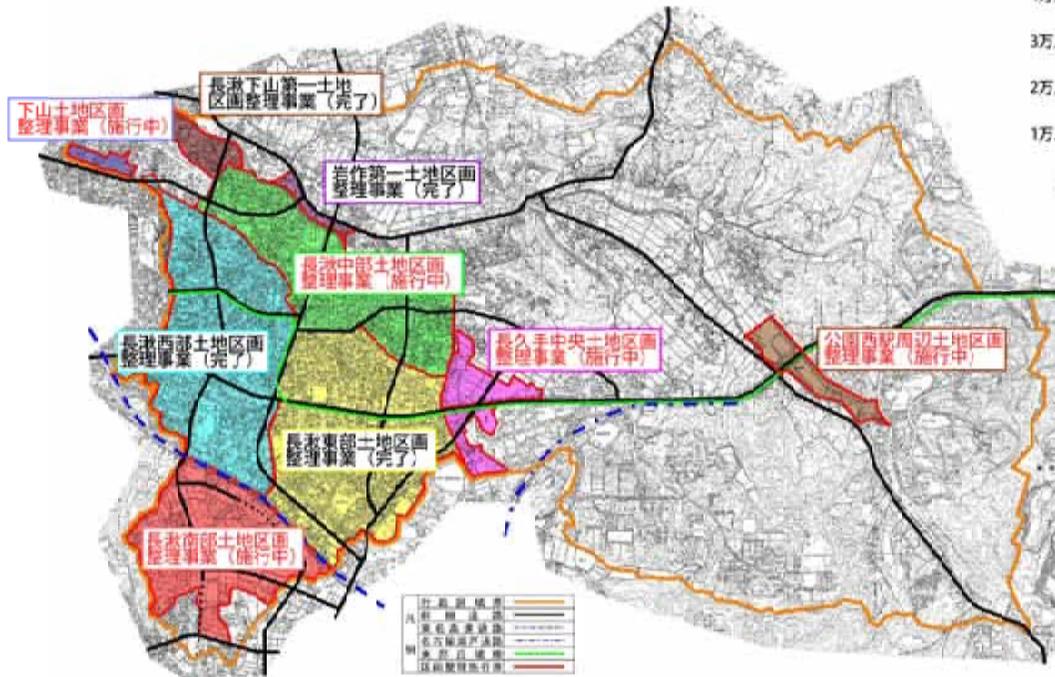


2007年（平成19年）頃



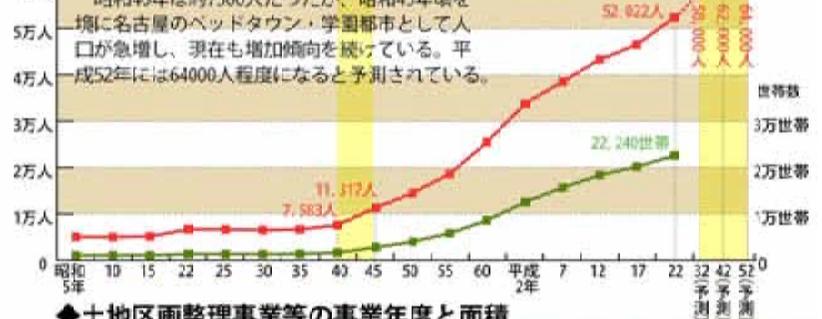
◆土地区画整理事業

昭和40年代需要の高まりを受け、名古屋市に近い地区が市街化区域に指定され、土地区画整理事業等が進められている。現在はリニモ長久手古戦場駅や公園西駅周辺などで計画が進められている。



◆人口と世帯数の推移

長久手市の人口・世帯数の推移



◆土地区画整理事業等の事業年度と面積

事業名	事業年度	面積
長湫西部土地区画整理事業	昭和47年～平成12年	158.9ha
長湫東部土地区画整理事業	昭和48年～平成5年	163.5ha
長湫山第一土地区画整理事業	昭和53～56年	13.6ha
長湫中部土地区画整理事業（施工中）	昭和56年～平成25年	106.7ha
岩作第一土地区画整理事業	平成4～16年	4.7ha
長湫南部土地区画整理事業（施工中）	平成10～26年	98.2ha
下山土地区画整理事業（施工中）	平成25～30年	5.5ha
長久手中央土地区画整理事業（施工中）	平成22～31年	27.4ha
公園西駅周辺土地区画整理事業（施工中）	平成25年～35年	20.6ha
計		579.7ha
団体営園場整備事業（愛知用水（岩作工区））	昭和44～48年	78.5ha
鷺宮御日園場整備事業（丸根）	昭和46～56年	32.2ha
非補助土地改良事業（丸根）	昭和55年～平成16年	16.7ha
団体営園場整備事業（長久手）	昭和42～54年	114.4ha
農村総合整備モデル事業（長久手）	昭和53年～平成19年	45.2ha
計		237.0ha
合計		816.7ha

まとめ

●長久手市は古くから丘陵地やため池、湿地を開拓した田園が広がっていたが、昭和40年代より土地区画整理事業や大学誘致、力石名古屋線などの幹線道路、リニモなどが整備され、名古屋のベッドタウン・学園都市として人口が急増し、現在も人口増加が続いている。

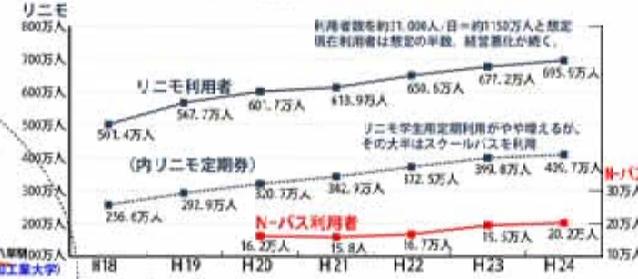
3. 交通

◆都市計画道路とリノモ駅からの徒歩圏

- 都市計画道路の整備率は約78%と高く、長久手古戦場駅や公園西駅周辺、瀬戸大府線、田原名古屋線などの整備が計画されている。
- 長久手市役所やあくりん村周辺、東名高速道路より南側などからリノモ駅は徒歩圏にない。



◆リノモ・Nバス利用者数



- リノモの利用者は、当初予測の半数に留まり経営悪化が続く。運賃設定や駅へのアクセスなどへの不満が多い→長久手古戦場駅、公園西駅周辺で区画整理事業施工中。
- 駅から距離がある大学も多く、地下駅からスクールバスを多く運行しリノモ利用が増加しなかった。

Nバス以外のバス

事業者	区点	終点	平日	
			平日運行(本数)	ピーク時(本数)
名鉄バス	1. 藤ヶ丘駅	愛知学院大学前	117	17
	2. 藤ヶ丘駅	長久手車庫	42	5
	3. 藤ヶ丘駅	星ヶ丘駅	14	2
	4. 藤ヶ丘駅	瀬戸駅前	22	2
	5. 藤ヶ丘駅	菱野団地	31	2
	6. 名鉄バスセンター	長久手車庫	37	4
	7. 名鉄バスセンター	愛知学院大学前	45	5
	8. 星ヶ丘駅	長久手車庫	10	1
	9. 赤池駅	長久手古戦場駅	12	1
	10. 愛知学院記念公園	瀬戸駅前	1(休日)	1
名古屋市営	11. 星ヶ丘駅	猪鼻緑地	122	13
尾張旭市営	12. 尾張旭市役所	尾張旭市役所	7	1
日進市内巡回	13. 日進市役所	日進市役所	11	1

スクールバス

所在	学校	発駅	平日運行(本数)	ピーク時(本数)
長久手市	愛知医科大学	藤ヶ丘駅	40	8
	栄徳高校	高辺がらコース	6	1
瀬戸市	瀬戸大学瀬戸キャンパス	本郷聖堂・地球科学記念公園駅	19	6
	名古屋科学大学(光榮女子短期大学)	公園西駅	23	3
日進市	名古屋外国語大学	赤池駅	19	3
	名古屋学芸大学	赤池駅	約60	約12
豊田市	堀山女子短期大学	赤池駅	約40	6
	愛知工業大学	八草駅	16	2
			79	12

Nバス(長久手市のコミュニティバス)

路線名	区間	所要時間(分)	運行本数(本/日)
中央循環線(右回)	没場	38	11
中央循環線(左回)	没場	38	12
福祉の家線	没場	10	16
西部線	没場	27	7
南部線	没場	28	15
東部線	没場	32	7
三ヶ倉線	福祉の家	33	6
	福祉の家	43	7

◆交通量と混雑度(平成22年度全国道路・街路交通情勢調査(愛知県))



- 市民の移動は自家用車利用が多く、人口も急増したことから、名古屋長久手線、カ石名古屋線や春日井長久手線などで交通量が多く、愛・地球博記念公園周辺などは慢性的な渋滞となっている。

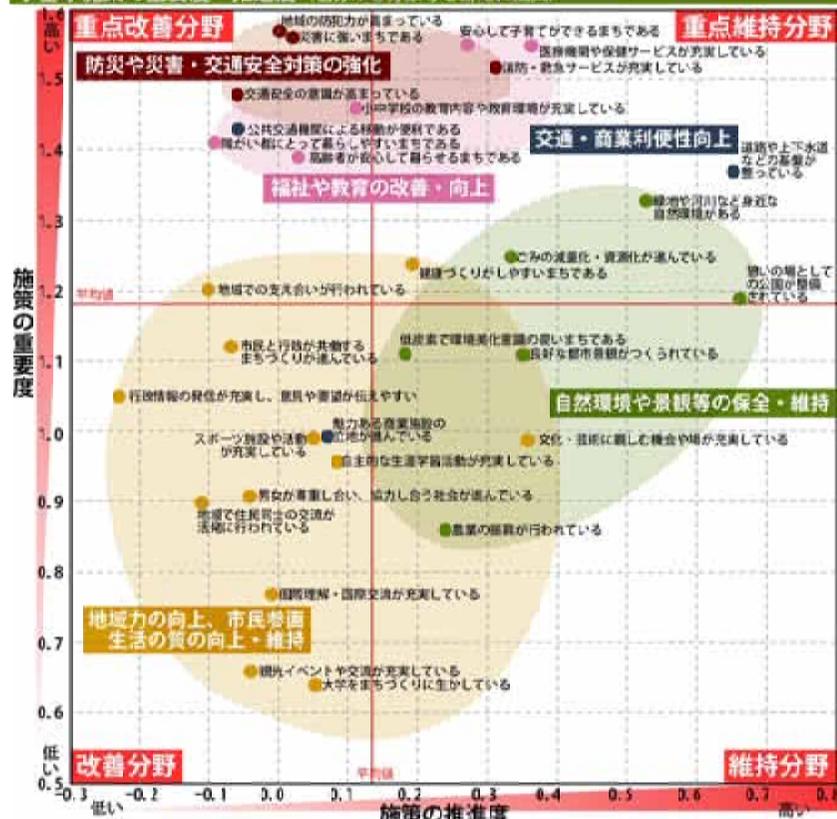
◆バスの路線図



- 名鉄バスは地下駅へのアクセスが多く、Nバスは市内難関への移動を補助しており市役所で乗り換えとしている路線が多い。

長久手市では「第5次総合計画（H21.3）」、今後4年の重点的な取り組みをまとめた「新しいまちづくり工程表」（H24.6）に基づき「日本一福祉のまち」の実現に向けて、まちづくりを進めている。H24年度長久手市市民意識調査では、これらの市政全般の成果を検証し、今後の市政運営などに反映するとしている。

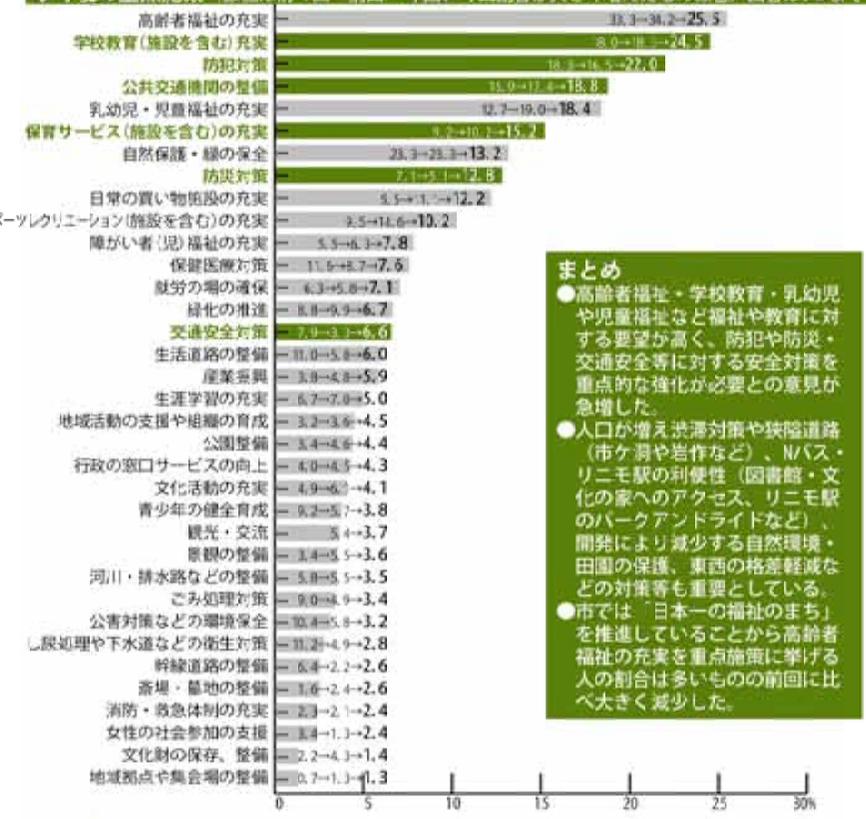
4. 市民意識調査結果（H24年度）



◆自由意見の抜粋（ ）内は総意見数

1. 万博理念を継承し自然環境にこだわるまち (123)
 - 車中心のまちであり、化石燃料の消費が気になる。コミュニティバスも路線はあるが本数が不足している等、環境を意識した政策だとうかがえるように感じる。市民が無意識にでもエコな生活ができるくらい政策を期待したい。
 - 生活していて道路が増え車の交通量が増えたので騒音、大気汚染が気になる。
 - 人口が増えていくにしたがって様々な施設、店舗が急ピッチで進んでいくが、長久手の良さである自然との共生がないがしろにされているように感じ、残念でならない。開発の際もっと自然を残す試みを行ってもよいのではないか。
 - 堤防副都を良く散歩しているが雑草が目立つ。流れる川の中にも雑草が多い。整備が必要。
 - 自然環境の保有が重要。また農業の振興は最重要。高齢化により手放される土地を市として地域としてどう守っていくか考えるべき。
2. リノモでにぎわい交流するまち (402)
 - 市の西部は開発が進んでいるが東部は遅れている。利便性の格差をなくす必要性を感じる。
 - 同世代ばかりの世帯となり、マンモス小学校ができたりますので急激な住宅開発はしない。
 - 市が中心部は道路が大混雑しているので車線を増やすなど道路整備を早急してほしい。
 - 岩作地区は狭い道路が多く不便。
 - N-バスについて、せっかくあるのに自宅から行きたいと思う目的地に行くのが不便。
 - 中央図書館を子供とよく利用しているが、坂の上で、歩き・自転車などでの利用がしにくいのに、N-バスや自家用車の時の駐車場がとても不便。
 - リノモ沿線開発を早期に実行してほしい。リノモ沿線のまちづくりを進めるべきだと思う。
 - リノモ駅に近い駐車場（パーク＆ライド）をつくる。例えばアビタなどの連携はできないか。

◆今後の重点施策（数値は前々回→前回→今回、今回割合が大きく増えたものを緑色。回答は3つまで）



まとめ

- 高齢者福祉・学校教育・乳幼児や児童福祉など福祉や教育に対する要望が高く、防犯や防災・交通安全等に対する安全対策を重点的な強化が必要との意見が急増した。
- 人口が増え渋滞対策や狭路道路（市ヶ瀬や岩作など）、N-バス・リノモ駅の利便性（図書館・文化の家へのアクセス、リノモ駅のパーク＆ライドなど）、開発により減少する自然環境・田園の保護、東西の格差軽減などの対策等も重要としている。
- 市では「日本一の福祉のまち」を推進していることから高齢者福祉の充実を重点施策に挙げる人の割合は多いものの前回に比べ大きく減少した。

3. 人がいきいきとつながるまち (294)
 - 開発することで緑地が失われ単なる便利で無機質なまちになってほしくない。憩いやすい道路を作ってほしい。
 - 新しい施設をつくるのではなく、今あるものを手入れし、維持して使い続けられるようなまちづくりが必要。
 - 岩作(市役所)あたりにもっと商業施設を増やしてほしい。
4. 文化をみがき、人が輝くまち (18)
 - 大学が多く、活気があるのは良いが、マナーが最悪。
 - スポーツ施設を増やしてほしい。プール、フィットネスなど「遊べるものをいくつか」造ってほしい。
5. みんなの力を結集する自治と活版のまち (208)
 - 若者の力を地域に発揮できるようにボランティア教育をして、環境、スポーツ、芸術(美術・音楽など)を促進できる環境づくりを行政に期待する。
 - 安心・安全で緑の多い子どもや高齢者が住みやすいまちになってほしい。再開発などの情報を公開してほしい。
 - 開発が進み家や店が増えるのはいいが、マイナス面も出てきている。道路渋滞、緑の減少、学校の子ども数のかたよりなど。
 - 他の都市のまちづくりを真似するのではなく、独自のまちづくりを貫き、理想のまちの実現を目指すべきだと思う。一時的な利益優先ではなく長期的な視点で、自然豊かな美しいまちをつくる。

5. 上位計画（長久手市）

◆第5次長久手市総合計画（H21.3）

- ◆目標年次：平成30年 ◆将来人口 フレーム：63,000人
- ◆10年後の「市の将来像」：人が輝き 緑があふれる 交流都市 長久手
- ◆まちづくり5つの基本方針
 - 1 万博理念を継承し、自然・環境にこだわるまち
 - 2 リニモでにぎわい交流するまち
 - 3 人がいきいきとつながるまち
 - 4 文化をみがぎ、人が輝くまち
 - 5 みんなの力を結集する自治と協働のまち

◆第2次長久手市土地利用計画（H21.3）



まとめ

- 「人が輝き 緑があふれる 交流都市 長久手」を将来像として、自然・環境にこだわるまち、リニモでにぎわい交流するまち等を目指している。
- 市東部丘陵地の森林やため池、農用地等を保全し、西部は緑豊かな住宅地形成を目指している。
- 香流川は東部の自然と西部の市街地をつなぐ「水と緑のネットワーク」となり、多自然川づくりや遊歩道の整備を目指している。
- 力石名古屋線や図書館通り等を良好な景観を形成する景観軸に設定。
- リニモ長久手古戦場駅をシンボルコア、公園西駅周辺や市役所、文化の森周辺等を交流拠点に設定。

◆長久手市都市計画マスタープラン（H22.3）



◆長久手市緑の基本計画（H22.3）



◆リニモ沿線地域づくり構想 (H21.3) 愛知県・瀬戸市・豊田市・日進市・長久手市

長久手古戦場駅
～長久手の新しいシンボル地区～



駅前には商業・公益サービス・レクリエーション施設などが集積し、その周辺には住宅地区が広がるなど多様な機能を凝縮する。

芸大通駅
～芸術・文化ゾーンの玄関地区～



駅前広場や周りに住宅が整備されている。またトヨタ博物館や愛知県立芸術大学などのプロムナードをアートで彩る。

公園西駅
～パークサイドタウン地区～



整備された田舎地帯の中、駅前には広場と利便施設を含んだ密度の高い住空間を配置。周辺は菜園と一体となった住宅を整備する。

愛・地球博記念公園駅
～地球市民交流の拠点地区～



愛・地球博記念公園には地球市民交流センターをはじめ魅力的な施設を整備する。また駅周辺には利便施設を誘致する。

イケア (商業施設)

スウェーデン発祥の家具販売店「IKEA (イケア)」が、約4.8haの商業用地に、出店する予定。太陽光発電や地中熱利用のほか、リニモ公園西駅からのペDESTリアンデッキ、神明社側の緑街緑地帯、香流川側への歩道スペースと公園との一体的な憩いの場づくりを計画している。



イオン系 (商業施設)
イオンリテール面が2014年度末出店予定 (敷地面積約3.9ha) (参考アピタ長久手敷地面積約3ha)

【施行者】長久手中央土地区画整理組合
【施行面積】 27.4ha
【施工期間】 平成22～31年度
【計画人口】 1,710人

【施行者】長久手市
【施行面積】 約20.6ha
【施工期間】 平成25～35年度
【計画人口】 約1,200人 (計画戸数約490戸)

◆公園西駅周辺環境配慮型まちづくり基本構想・基本計画 (H24.3, H25.5) 長久手市

- ◆長久手市東部の生活拠点として、公園西駅周辺における土地区画整理事業を施行し、本事業を環境配慮型まちづくりのモデルとして、持続可能な都市経営基盤の確立を目指すもの。
- ◆「水・緑・風」「エネルギー利用」「日常生活・行動」の3つの方向から検討された様々な施策を実施する計画

	導入方策
水・緑・風への配慮	①エリア全体での積極的な緑化の推進 ②緑と水にあふれる特徴的な公共空間デザインコンへの実施
エネルギー利用に関する配慮	③公共交通機関の積極的な利用の推進 ④環境配慮型基盤整備の実施 ⑤環境配慮型住宅ガイドラインの策定 ⑥環境配慮型住宅街区の構築 ⑦環境配慮に対する言い取り組み内容を提案する事業者の選定
日常生活・行動に関する配慮	⑧住民全体のエリアマネジメント組織の助成・運用



まとめ

- 長久手古戦場駅周辺では「長久手中央土地区画整理事業」が施工中、2014年度末イオン系商業施設出店予定。
- 2013年から「公園西駅周辺土地区画整理事業」を着手、商業ゾーンに大規模商業施設「イケア」が出店する予定。

◆全国都市緑化あいちフェア基本構想・基本計画

愛知万博10周年を記念して「全国都市緑化フェア」を平成27年（2015年）9月12日～11月8日（58日間）で開催。メイン会場は「愛・地球博記念公園」としている。総事業費10～20億円、入場者数100～150万人を目標。

◆テーマ：緑のある暮らしの明日を愛知から
「花を愛し、緑のチカラを知る 全国都市緑化 愛・知フェア」

◆エリアの展開方針

エリア	展開方針	展示コンテンツ・催事関係施設案
地球市民のエリア	・屋内外の催事や展示を展開 ・環境、花等様々なテーマによる催事展開 ・エントランスとしての景の演出 ・運営本部機能を設置、等	・フラワーラング ・アートウォール ・グリーンウォール ・愛知万博の足跡展示 ・体験教室
農のエリア	・愛知の農、自然を魅せる展示の展開 ・愛知の農に関する催事の展開、等	・実りの秋作景 ・祭りの広場 ・農家の最先展示 ・あいちサトラボ活動の足跡展示
緑の贈り物のエリア	・自然への想いを込めた、子供達への贈りものとなる景を展開、等	・こどもたちへの贈り物の展
水辺のエリア	・池泉、政令市等による出展の景を展開 ・企業、団体による出展の景を展開 ・エントランスとしての景の演出、等	・花のカスケード ・花しずく（都道府県・政令市、企業）
創造のエリア	・未来の創造の景を展開 ・学生による出展催事を展開、等	・未来の展 ・花の緑化展 ・モリゾーキッコロ大集合 ・成長の展（大花遣・花の広場） ・未来の作意過程展示
センターエリア	・ステージ催事の展開 ・休憩飲食の拠点としての展開 ・あいちの産品の展示即売等の展開、等	

◆最多来場者日の交通手段



◆事業スケジュール（按察）

項目	内容	H25年度	H26年度	H27年度
行楽	基本的流れ	実施計画	調整・運送	あいちフェア
	イベントプログラム			
会場整備	基本的流れ	実施計画	実施設計・施工管理・工事	
	設備・主幹路		施設設計・主幹路・緑化工事	
	屋外展示		実施計画	展示の制作・運送
	植物搬送		植物生産・生産調整	植物検品
運営管理	基本的流れ	実施計画	調整・運送	
	会場運営管理		関係者調整	運営管理
	交通輸送		関係者調整	運営管理
観光誘致 広報宣伝	基本的流れ	実施計画	調整・活動	
	キャラクター活動			
	ホームページ			

◆エントランスの構成

エントランス名	場所	主要な国際交通
北エントランス	リニモ愛・地球博記念公園駅周辺	リニモ 北駐車場 臨時駐車場 シャトルバス
西エントランス	西駐車場周辺	西駐車場 南駐車場 臨時駐車場
公園西駅エントランス(仮設)	リニモ公園西駅周辺	リニモ

◆駐車場

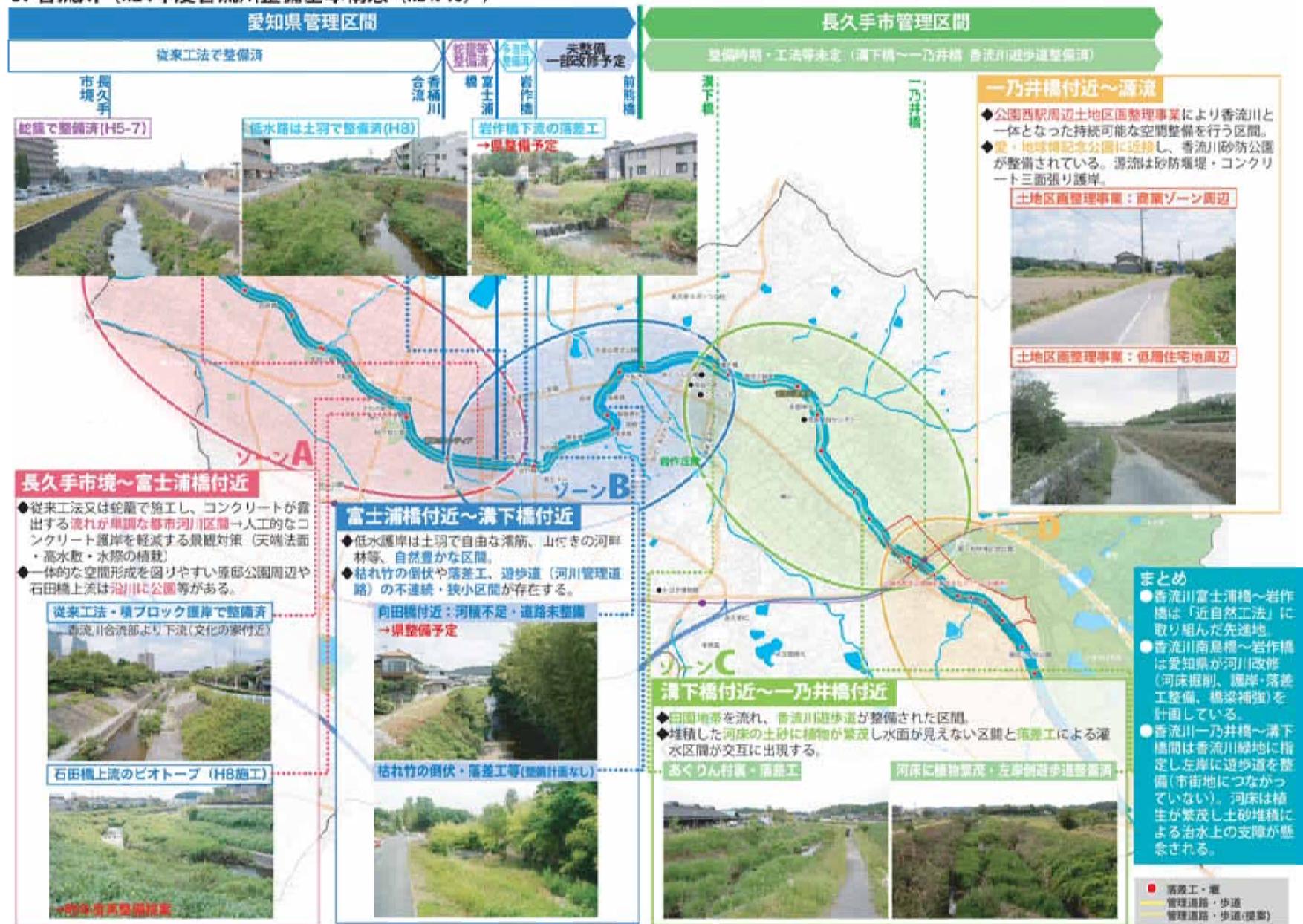
区分	場所	施設	台数(台)
既設	愛・地球博記念公園	北駐車場	1,057
		西駐車場	392
		南駐車場	362
	小計		1,811
臨時候補	愛・地球博記念公園(臨時)	多目的広場	400
		西側下段空地	470
		西駐車場	150
		農業長谷屋敷	180
	小計		1,200
	合計		3,011



まとめ
●2015年秋に愛・地球博記念公園で「全国都市緑化フェア」を開催。入場者数100～150万人（現在の1年間入場者数）を予想。
●リニモ公園西駅から歩行者が入れる公園西駅エントランスが新たに整備される。



6. 香流川（H24年度香流川整備基本構想（H24.10））



◆香流川整備方針、整備イメージ

香流川を軸とした「まちづくり」

水と緑・人・未来をつなぐ交流軸 ～香流川～

水と緑軸

交流軸

未来軸

